

ダウンロードはお済みですか？

くまもとアプリ

熊本市の「くまもとポイント事業」の対象とされたボランティア活動を行うとポイントが付与されるほか、ボランティア活動証明書の発行を受けることができるアプリです。

ポイント事業の対象や使い道は今後発表されていく予定です。

災害時の
避難所受付にも
便利です！

事前にアプリに
マイナンバーカードを
登録しておく...

避難所に掲示された
QRコードを読み取ります

読み取り
カメラでQRコードを読み取ります

氏名、住所、性別、
生年月日が
自動で登録されます

補足情報を入力します

確認

登録

簡単に
受付完了！

アプリ詳細・
ダウンロードは
こちらから



落語で啓発 ⚡ 電話で「お金」詐欺

2月に新聞で「電話で『お金』詐欺防止を創作落語で講話」と紹介され話題となった、富合町出身の警察官、村崎智成さんが各地区の高齢者サロンからのリクエストに応え、落語で詐欺防止の啓発をされています。



5月23日に莎崎地区、5月27日に碓江地区で実施され、自分は騙されないと思っている人ほど危険と笑いを取りながら伝えられました。



主催講座のご案内

講座名	開催日時	対象	定員	費用	締切	QRコード
子ども書道教室 3週にわたっての3回講座です	7月25日、8月1日、8日 木曜日 全3回 午前10時～正午	小学生	12人	無料	7月17日 (水)	
子ども絵画教室 3日連続で課題を仕上げましょう！	7月31日(水) 8月1日(木)、2日(金) 全3回 午前9時半～11時半	小学生	12人	無料	7月23日 (火)	

★ 講座申し込み方法 ★

- 往復はがき 往信用裏に講座名・①住所・②氏名(フリガナ)・③年代(学年)・④性別・⑤電話番号・⑥校区をご記入の上、締切日必着で申し込みください ※ 返信用表面はご自身の住所と宛名をはっきりと記入、裏面は何も書かないでください
- インターネット 「富合公民館(主催講座)」で検索、またはQRコードを読み取って申し込まれてください
- 公民館窓口の場合 窓口へ直接来られる場合は、郵便はがきをご持参ください

* 講座の受講において、不安なことがあるなど配慮が必要な方は遠慮されることなく公民館職員にお伝えください



公民館HP

とみあい 自治会探訪

【第3回】鳥場自治会

自治会の活動や各地区の情報を広く地域の皆様に知っていただきたく、実施している自治会取材企画。

第3回目は、鳥場自治会です。今回は、3月から4月にかけて行われた自治会行事を訪問するとともに、自治会長の三角陽司さんにお話を伺いました。

3月17日(日)、大地震を想定した鳥場区防災訓練が行われました。当初は、訓練後にビンゴ大会、モルック大会や懇親会も予定されていましたが、雨天のため訓練のみ実施されました。



午前9時、「訓練地震発生。各組の『組うち声かけ班』で連絡を取り合い、各組の『いっとき避難所』へ避難してください」という放送が繰り返し行われ、住民の方たちが声をかけ合いながら、指定された集合同所に集まってきました。そこでは、隣保組の組長が避難者の人数を確認し、揃って鳥場公民館へ歩いて向かわれました。

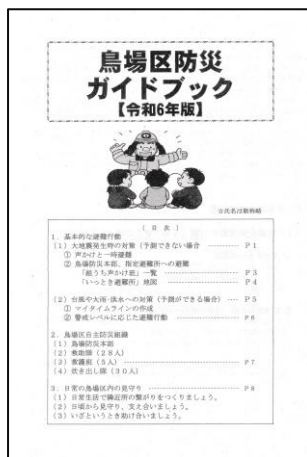
鳥場公民館は鳥場公園の中に建っています。鳥場公園に約120人の住民の方が班ごとに整列され、自治会長あいさつ、消防署と駐在所からの講評があり、訓練は終了しました。



↑まずは「いっとき避難所」に集合



↑鳥場公園で班ごとに整列される様子



↑全世帯に配付されている「鳥場区防災ガイドブック」

鳥場地区では、防災訓練に先立ち、「鳥場区防災ガイドブック」を作成し各世帯に配付されています。そこでまず書かれているのが、「組うち声かけ班」と「いっとき避難所」です。

大地震が発生したときは、まず組うちの近隣3~5軒で編成した防災のための互助班「組うち声かけ班」で安否確認をして、隣保組ごとに決められた集合同所「いっとき避難所」に集まることが決められています。もし家に子どもしかいない場合でも、子どもだけでも「いっとき避難所」に行けば近隣の大人が助けられるようにと考えられた仕組みです。

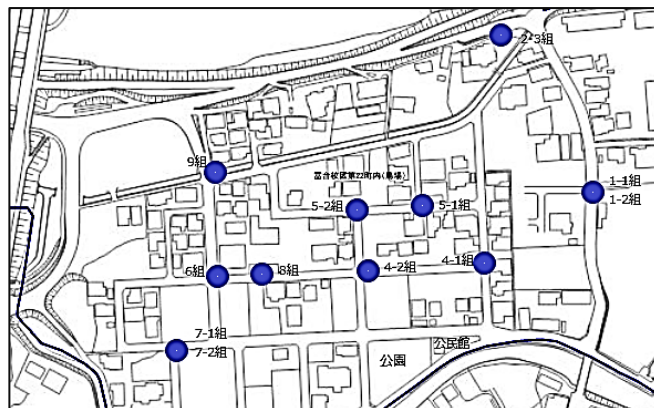
集合したら組長(組長不在時は集まった人の中で決めたリーダー)の指示で、一人で行動できない人や安否が分からない人の家を複数の人で訪ねて確認する

こと、救助が必要な人がいたら危険のない範囲で救助すること、小さな火災を消火すること、自宅に戻れない人の中でリーダーを決め、一緒に鳥場公民館（鳥場防災本部）または富合小学校（市指定避難所）に行くこと、組長が避難の状況を鳥場防災本部に連絡することなど、初動対応が書かれています。

また、鳥場区自主防災組織が防災本部（4人）・救助隊（28人）・救護班（5人）・炊き出し隊（30人）で編成されており、住民同士の共助の仕組みが整っていることが分かります。

他に、台風や大雨・洪水対策として、マイタイムラインの作成方法、警戒レベルに応じた避難行動も示しており、災害に備えた自分の行動を確認できるようになっています。

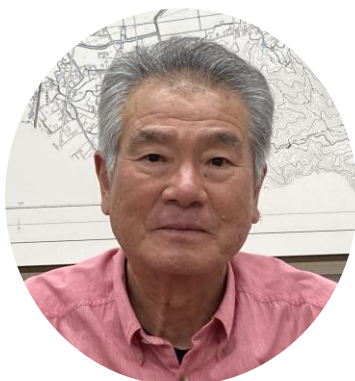
4月7日(日)、鳥場公園で自治会総会が行われ、100人以上の方が参加されました。全員が公民館に入りきらないため、コロナ禍以後は公園に椅子を並べて開催されているそうです。総会後は中学1年生の司会進行によるビンゴ大会も行われ、和やかな雰囲気でした。



↑隣保組ごとに決められた「いっとき避難所」の場所



↑総会後のビンゴ大会



三角 陽司 自治会長

三角自治会長：鳥場地区は、緑川と浜戸川に挟まれた地形で浸水被害に遭いやすく、昔から住んでいる住民は水に対する怖さを知っています。自治会では、市の地域コミュニティ支援補助金を利用して、救命胴衣、ロープ、ボートを購入して公民館に保管し、水害に備えています。

鳥場オリジナルの防災ガイドブックの他にも、年間行事予定表、自治会組織図、世帯一覧（組うち表）を作成して全戸配付しています。地区行事の日時、役員や色々な係・委員の氏名を明記しており、住民の方が自治会の一員だと自然と認識されているのだと思います。皆さん自治会活動に協力的で、6月と10月の一斉清掃では参加者が100人を超えます。また、小学校の夏休みには鳥場公園でラジオ体操を実施しています

が、地域の方が自宅でも参加できるよう、地区放送でラジオを地区内全域に流しています。朝早い時間帯にも関わらず放送に対して苦情を言う人は一人もおらず、公園での体操にも毎回40人くらいは集まります。去年はラジオ体操の実施に合わせて公園の草取りを住民に呼び掛けたところ、多くの方が作業に参加していただき、改めて皆さんの地域活動への理解を実感し、大変嬉しく思いました。

他に地区放送で工夫している点としては、放送を行うときにいきなり話し出すのではなく、しばらく童謡を流して住民の注意が向くようにしています。

話は変わりますが、私は地域密着型スポーツクラブ「とみあい総合型クラブ」の設立から関わっており、現在は事務局をしています。その中でニュースポーツの普及に取り組んでいることもあり、鳥場ではモルックやボッチャが盛んで、老人クラブやサロン、子ども会でも親しんでいます。

鳥場地区の防災意識の高さ、住民の方のまよりの良さが印象的でした。今回の取材を通して、仕組みを整え、共有することの大事さを学ばせていただきました。

令和6年度7月～8月の開館日（○:休館日）

平日 9:30-19:00
土日祝 9:30-18:00

と

みあい図書館から



とみあい図書館
キャラクター

トミーちゃん

7

JULY / 2024

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	15	①⑥	17	18	19	20
21	②②	23	24	25	26	27
28	②⑨	30	31			

8

AUGUST / 2024

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	②⑥	27	28	29	30	31

♡「とみ♡ING」によるおはなし会の予定
7月20日 午前11時～11時半



もうすぐ夏休み、暑い日が続きますが体調に気を付けて過ごしてください。
図書館では、七夕に関する本や、読書感想文と感想画の課題図書展览展示に加え、
夏休みの自由研究に役立つ本をそろえています。
今月は七夕に関する本を紹介します。



今月のおすすめ本

『たなばたのおねがい』

7月7日、たなばたの日。けろくんは短冊に「ともだちができますように」と書きました。それを聞いたぴょんたくんは、けろくんのためにともだちを見つけようとしますが…。
がじゅまる はな／文 鈴木 康治／絵
文芸社／出版

『七月七日は まほうの夜』

小学校2年生の女の子なかよし3人組が神社で出会ったおばあさんは、織姫さまだった。3人が織姫さまが天に帰れるようお願いごとをすると…。
石井 睦美／作 高橋 和枝／絵
講談社／出版

『病弱探偵』

病弱な女子高生マイと健康優良児のゲンキ。学校で起こる6つの不思議な事件に2人が挑む。2つ目の事件では、笹に吊るされた七夕の短冊が全て持ち去られるという謎に挑みます。
岡崎 琢磨／著 講談社／出版

『図解 身近にあるれる「天文・宇宙」が3時間でわかる本』

七夕はなぜ「たなばた」というの？宇宙に星はいくつあるの？星座や暦、天文現象といった身近な天文学から、天文学や宇宙開発の歴史、最新の天文学の成果まで幅広く取り上げる。
塚田 健／著 明日香出版社／出版